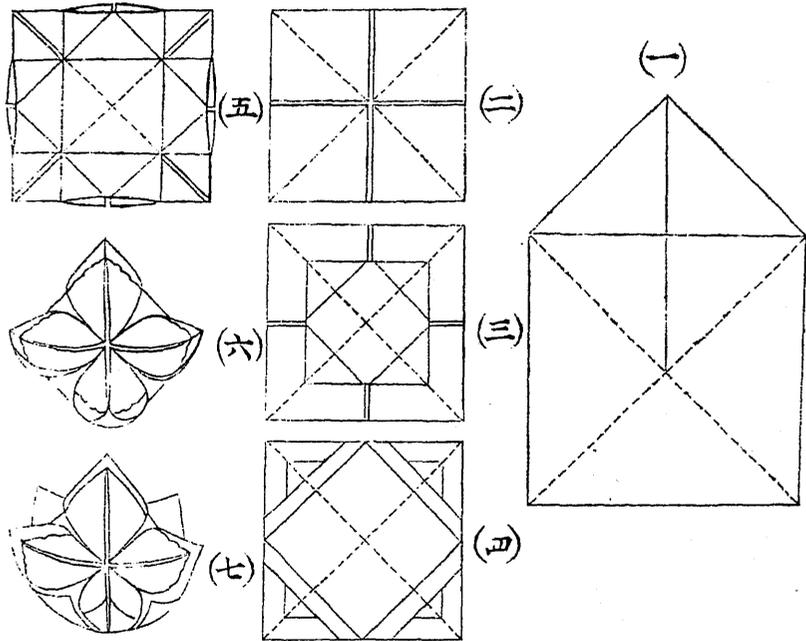


室内手遊

摺み方

今度の摺み方も、また前と變つて、をります、第一わ状袋ですが、四角な紙を三角に折り、又それを二つに折つて小さな三角にして、能く線をつけひろげてみますと、線と線と出合つた所があります、その出合つた所、その紙のまん中でございます、さて四方の角をそのまん中に集めて、一方をはねてごらん下さい、



十

状袋です(第一圖)

又状袋を摺んで、その四方の角を、裏の方から又まん中へ集めますと一つの花がたが出來ます、(第二圖)しかし唯こゝしたばかりでわ、ほんのどだいが出來たばかりですから、それをもとにして、いろいろ工夫して變へてごらん下さい、きれいな形が出來ます。(第三第四第五)次ぎわ栞の花、これわ二圖のよゝに、花形を摺

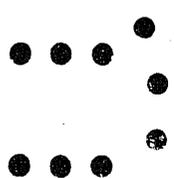
んで、その角を又同じしよーに、裏え折るかえして、前に折つた角を圖のよーに引きかえすのです、(第六圖)

次ぎわ始め同じ方へ前のよーに二度折つて、三度目に裏え折るかえし、それから始めに折つた方、八つを引きかえすのです、これわ蓮の花です。(第七圖)

馬車遊ひ

皆さん、一つ面白い遊戯をお知らせ致しましたよ。これは五人でも十人でも二十人でも、幾人あつても宜しい。そこで、まー假に十人としましょー、其中で、一人は御者になつて、真中に立つて居らつしやい。残り八人は、乗客になつて、ぐるつと椅子に腰をかけなさい。そして残りの一人は、

八人腰をかけて居る周圍で、どこでも適當な所に立ちん坊になつてふらついて居るのです、この人には椅子がありません。まーざつと、次の圖の様になります



● 御者

猫の子、切符、娘、坊ちゃん、レール、石、鶏など種々につけて置く、附けられた人は、各自自分の名前を覚えて居らなければなりません。それから 御者は皆に向つて話しを始めるのです。所で其話の中に、度々お客に附けた名前が出て來ます。すると其名前が話の中に出た人は、出